



初代那珂川町長に川崎和郎氏

十一月六日、町内二十九カ所で那珂川町長選挙の投票が行われ、午後八時五十分から山村開発センターで即日開票されました。その結果、川崎和郎氏が六、二八二票、前田正利氏が三、八一〇票、奥村昌也氏が二、三九三票得票し、川崎和郎氏（旧馬頭町長）が当選を果たしました。
川崎町長は、十一月九日、初登庁しました。



那珂川町の初代町長に決まった川崎和郎氏は十一月九日、役場本庁に初登庁し、玄関前に並んだ約二百五十人の職員に拍手で迎えられました。女性職員から花束を手渡されると、職員一人ひとりに握手し笑顔で町長室に入っていきました。
那珂川町は名実ともに、新たな歴史の第一歩を踏み出しました。



就任式

就任式で 町政の決意述べる

午前九時から就任式が行われ、藤田教育長が「課題山積であるが、輝かしい経歴、実績を生かし、新生那珂川丸の進むべき進路をお示し願いたい」と歓迎のことは述べました。

川崎町長は職員を前に「責任の重大さをひしひしと感じている。那珂川町民一体の意識をもつことが大切。英知を結集して那珂川町のために何ができるかを考え、山積する課題を職員や町民の協力を得ながら一つ一つ解決に向け、努力していきたい」と決意を述べました。



当選証書付与式

町長職務執行者退任式

十一月四日、新那珂川町の町長が決まるまでの間指揮を執った、渡辺良治町長職務執行者の退任式が行われました。

渡辺町長職務執行者は十月一日の合併から約一カ月余り、条例の施行や暫定予算の執行などに尽力しました。

約二百人の職員が出席した退任式で、渡辺町長職務執行者は「大いに議論をし、十分検討を加え、筋を通して、いきいきとした那珂川町建設のために皆さんに期待したい」とあいさつ。花束と記念品が贈られ、職員に見送られながら、庁舎を後にしました。



退任式



那珂川町民の 一体感の醸成に全力

新生「那珂川町」の町長選挙におきましては、多くの町民の皆さまのご支援をいただきまして町政執行にあたることになり、責任の重さに身の引き締まる思いであります。

町政を担うにあたり「那珂川町民としての一体感の醸成」に全力を傾注するとともに、「行政と住民の信頼関係の構築」のため、職員と一丸となって誠心誠意取り組んでまいります。

さて、この度の合併は、本格的な少子高齢化や厳しい財政状況への対応、更には分権型社会の構築などを目的として進めてまいりました。新町建設計画のテーマである「豊かな自然と文化にはぐくまれ、やさしさと活力に満ちたまちづくり」を目指して、四季折々の豊かな自然と高齢者の住みよい環境を継承するとともに、明日を担う子どもたちに夢と希望を与えられる地域づくりのため、「町民参加の町づくり」を確立したいと考えております。

幸いにして、那珂川町はすばらしい自然と人間性豊かな人材に恵まれております。これらを土台に町民の皆さまの英知を結集し、ともに行動すれば、「夢と希望に満ちた安全で安心な活力ある町づくり」ができるものと確信しております。

那珂川町におきましては、財政の硬直化が進む中、教育や福祉のさらなる充実、農業や商工業の活性化、高度情報化の推進、道路交通網の整備、環境問題など課題が山積しております。私はこれらの諸問題を誠実に、一步一步前進するため情報公開に努め、町民の皆さまが町政に参加しやすい組織づくりや町づくり事業の具体化について、積極的に取り組んでまいります。ふるさと那珂川町の発展のため、「公聴・公開・公平」を基本姿勢とし「町民参加の町づくり」の実現のため努力いたしますので、町民の皆さまに更なるご協力をお願いし、就任のあいさついたします。

那珂川町長 川崎和郎